

様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業（実績書）

令和4年3月15日

団体名 あやべボランティア総合センター

事業の目的	広範な地域のニーズに基づいたボランティア・市民活動の支援や、ボランティアマインドの広がりを進めることにより、「人」「まち」「自然」が生き生きと輝き、誰もがいつまでも心豊かに安心して暮らすことが出来る綾部を目指す。
事業の名称	ボランティア活動推進事業
事業費 (市補助金)	1,705,466円 (1,587,000円)
補助金の用途	・ボランティア学習・福祉教育・ボランティア分野別部会活動費 ・助成金情報の作成・発行等 ・広報・啓発活動/ホームページ管理・運営 ・センター運営に関する経費等 ・車両等維持管理費・事務機器の維持管理費
事業実施期日	令和3年4月1日～令和4年3月15日
事業実施場所	市内全域
事業の概要	○ボランティアコーディネートの強化 ○ボランティア活動の支援 ○ボランティア活動参加への“きっかけ”と“学びの場”づくり ○幅広い協力体制の構築 ○ボランティア情報の発信 ○センター運営の基盤強化 ※昨年度からコロナ禍で事業縮小となっているが、感染予防の徹底と事業内容を工夫しながら実施出来ることを始めている。今年度は、感染拡大に十分気を付けながら活動をした。
補助金の効果	私たちの身の回りでは、今、過疎化・少子高齢化が進行しており、同時に、社会のニーズが個性化・多様化していく方向にあって、個別的かつ多様な社会的サービスが求められています。またモノがいきわたり、モノの豊かさから心の豊かさを求める傾向になり、心の問題や人ととのふれあい等の課題が大きく浮上していく状況にあって、地域に根ざし、住民の多様なニーズにきめ細かく、しかも迅速に応えるボランティア活動の役割は、ますます重要になってきています。このような社会的背景や時代の要請から、現在当センターは、多様なボランティア活動・市民活動への支援や、市民啓発などの事業展開、各種団体との連携強化、人材発掘・人材育成などの役割を担っています。 今年度からスタートした、「第2次センター基本計画」に基づき市民・ボランティア活動によるまちづくりの推進のため、きめ細やかなコーディネートによる需給調整・活動支援に努めました。そして、地域のニーズに合わせた各種講座を開催することにより、未来のボランティア活動者・担い手の育成を図りました。 また、引き続き、新型コロナウイルスの活動への影響による窓口相談や、ニーズ・課題把握、モチベーション維持のための啓発発信を行いました。

様式第4号（第7条関係）

収支計算書

令和4年3月15日
団体名 あやべボランティア総合センター

(単位：円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細		
	補助金	1,587,000	1,587,000	綾部市		
	雑入	220,000	119,160	コピー・印刷機利用収入		
	繰越金	0	0			
	合計	1,807,000	1,706,160			
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細		
	事業費	637,000	624,610	ボランティア学習・福祉教育 8,766		
				ボランティア分野別部会活動費 24,163		
				助成金情報作成・発送等 67,855		
				啓発・広報活動/ホームページ管理・運営 26,918		
	運営費			センタ-運営に関わる経費等 465,981		
				その他事業にかかる備品・書籍等 30,927		
				電話料(40-1388) 96,665		
				コピー機リース料 283,832		
				コピー機使用料 209,900		
合計		1,807,000	1,705,466	印刷機リース料 116,640		
差引		0	694	ネット・データ保存用ハードディスク保守 111,911		
				車両維持管理経費 194,989		
				その他消耗品ほか 66,919		